

考動・躍動・感動

今、考えてほしいこと

各教室の黒板を見ると、『昼放課練習。』『大縄跳びは月・水・金に練習。』などを書いてあり、体育祭に向けて、各クラスでの練習も本格的にスタートしました。昼放課、運動場を見るとたくさんのクラスが大縄跳びや10人11脚の練習をしています。しかし、よく見ると練習に参加している人が少ないクラスがいくつかあります。体調が悪かったり用事があったりする場合もあるので、参加したくても参加できない時もあるでしょう。しかし、中には「面倒くさい!」「つまらない!」といった理由で参加していない人もいないのではないのでしょうか。みんなで「練習する!!」と決めたはずです。一人が参加しないことが、どれだけクラスメイトに迷惑をかけるか、一生懸命練習しようとしている人をイヤな思いにさせるか、みんななら分かるはずです。



突然ですが、みんなに質問です。

「『ありがとう』の反対の意味の言葉は何でしょうか？」

正解は『当たり前』です。「ありがとう」は、漢字で『有難う』と書きます。

今、文化祭や体育祭に向けて、クラスの中でお互いに協力したり助け合ったりする場面が多くなっています。友だちのちょっとした優しさや気づかいを感じることも多々あるかと思います。その時に、その優しさや気づかいを“当たり前”にとらえるのではなく、“ありがとう”という言葉と気持ちで過ごしていけたら、自分自身も周りも人たちもとても穏やかな気分で過ごすことができるはずです。



文化祭や体育祭に向けて慌ただしい時、3連休明けで少し疲れもある時かと思いますが、そんな今だからこそ、ちょっとみんなに考えてもらいたいと思って書きました。

【☆みんなのキラリ☆】

～文化祭の準備・後片付けの様子から～

- あるクラスで最後まで作業をしている男子がいました。「片付け」の放送が入ったので、ある先生が段ボールの切れ端の始末を手伝おうとしたら、「僕やります!」と一人でサッと片付けていました。
- 「片付け」の放送が流れたら、自主的にほうきを取りに行き、掃き掃除をしてくれた男子がいました。

久しぶりのこのコーナー。みんなが様々な活動する中で、先生たちもみんなの“良さ”を見つけていきたいと思っています。